



高輪だより

平成28年12月号

港区立高輪幼稚園
園長 新山 裕之

＜行事の精選と工夫でよりよい育ちに＞

今年も、教育活動全体の配分を考え、行事の見直しをしました。高輪ギャラリーは、作品展を学期に1回ずつに分けて、その時期の作品を見てもらう形に改善したものです。また、2年目の取り組みですが、園としては成果を感じています。高輪コンサートも数年前から始めた行事です。子ども会で、劇・合奏・歌の三つを披露するのは子どもにとっても教員にとっても難しさがあると考え、分けたものです。コンサートは、他の行事に比べると少し肩の力を抜いて、親子で一緒に楽しみたい会です。

＜いろいろな人たちと仲良くなるために＞

2020 東京オリンピック・パラリンピックも控え、様々な文化を理解し、多様性を受け入れる人格の基礎づくりも幼稚園の使命となっています。幸いにも高輪幼稚園には、たくさんの国にルーツをもつお子さんが通い、国際理解教育が毎日当り前のように実践されています。運動会ではオリンピックに刺激を受けて、国旗を使った競技も楽しみました。そこで、高輪コンサートでは、保護者の皆さんにご参加いただき、いろいろな国の言葉で「きらきら星」を子どもたちに聴かせてもらえればと思っています。

＜高輪コンサートを親子で楽しい会に＞

先日のPTA運営委員会で幼稚園から提案させてもらったところ、PTA役員の方々を中心に、楽しい会になるように準備を進めてくれています。すてきな伝統がつながるよう『高輪幼稚園PTAの歌』もご披露いただきますよう、お願いします。

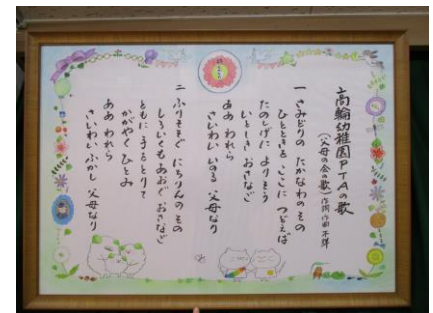
高輪コンサートは、練習から当日まで、どうぞ一緒に楽しむ気持ちでご参加ください。過程を楽しむ構えは、子どもたちにもいいモデルになるはず。今月は餅つきもあります。毎日元気に登園できますよう、体調管理に十分ご注意ください。



親子で鑑賞した7月の高輪ギャラリー



運動会後、3、4歳で世界旅行の競技を再現



高輪幼稚園の自慢のひとつ、PTAの歌



高松アカデミーの研究保育では
幼小中の先生方約80人が参観



ほとんどの子が温州みかんの収穫を体験！

・・・師走(しわす)・・・

大雪(7日)・・・黄色いイチョウの葉が舞い始めます・・・
冬至(21日)・・・空気が澄んで遠景がよく見えます・・・

高輪幼稚園には自然からのおいしい贈り物がたくさん届きます。今年も、ともだち池の奥の温州みかんが豊作で、およそ100個は収穫でき、おいしくいただきました。大きくなった夏みかんも、黄色く色付き始めました。高輪ガーデンに子どもたちと撒いたソラマメや大根の種が芽を出し、幼稚園も花いっぱいにして撒いた菜の花やレンゲも芽を出し始めました。季節は冬に向かっていますが、そと芽を出し、根を張っている小さな命があることも忘れずにいたいものです。

高輪の 二十四節気